

農協だより

平成29年 2月発行



「JA忠類青年部 アイスクャンدل作成！」

忠類青年部員は忠類神社にて毎年大晦日に行っているアイスクャンدل作りを今回も実施しました。12月26日～29日までに500個を作成し、大晦日当日に点灯式をしました。沢山の人が忠類神社に訪れ、多くの人で賑わいました。

主な内容

- ★第10回理事会…………… P 2
- ★十勝農業改良普及センター南部支所
「より食べさせる技術」…………… P 3
- ★忠類百合根耕作組合新年研修会…………… P 4
- ★酪農部会女性講座…………… P 5
- ★JAグループ通信…………… P 6
- ★生乳生産状況表…………… P 7

第十回 理事会

開催日 平成二十八年十一月二十四日

報告事項

- ・ 農作物・生乳生産状況および組合員勘定集計について
- ・ 被災農業者向け経営体育成支援事業の取り纏め結果について
- ・ 組合員異動報告について
- ・ 固定資産の処分価格について

付議事項

- ※固定資産の処分について
伐期到来のJA植林地立木の伐採及び伐採業者について、原案通り承認されました。
- ※固定資産の処分について
JA所有農地二筆の売却について、原案通り承認されました。
- ※出資金の持分譲渡について
経営移譲に伴う二件の出資持分譲渡について、承認されました。
- ※出資金の減口承認について
一件の出資金減口について、承認されました。
- ※「理事の構成」に係る改正農協法への対応方針について
改正農協法に伴う理事構成要

件変更への対応方針・方策について、原案通り承認されました。

※平成二十九営農年度 営農懇談会の開催について

- ・ 営農懇談会を各農事組合単位で十一月三十日、十二月一日に開催することで決定致しました。
- ※平成二十九営農年度 営農基本方針の策定について
原案通り承認されました。
- ※平成二十九営農年度に向けた諸対策について
原案通り承認されました。

- ※平成二十九営農年度 営農計画書策定要領について
協議・承認されました。
- ※平成二十九営農年度 農業資材価格の設定について
原案通り承認されました。
- ※平成二十九営農年度 営農計画書策定に伴う資産評価基準の設定について
原案通り承認されました。

- ※平成二十八年度 経営所得安定対策に係る仮渡金実施要綱について
原案通り承認されました。
- ※平成二十七肥料年度 系統化学肥料特別対策の実施について

系統取扱化学肥料の全銘柄に対し、三十円/二十kgの期中還元を実施することで承認されました。総額二百九十三万九千円。

※異常気象に伴う特別対策（ホクレン系統肥料利用割戻し）について

本年の異常気象に伴うホクレン特別対策費を財源に、系統化学肥料取扱高に対する利用割戻しを期中実施することで承認されました。総額一千三百二十一万四千円。

※異常気象に伴うJA特別対策について
本年の異常気象による農作物の被害を勘案し、今後の営農支援対策として期中還元することで承認されました。豆類買取実

績に対し五百円/俵、化学肥料供給実績に対し四・三%還元、総額一千八十八万一千円。

※損害保険代理店業務「コンプライアンスマニュアル」の改定について

原案通り承認されました。

※年末手当の支給率について
昨年同様の支給率とすることで決定されました。

平成29年度 農事組合長

今年1年よろしくお願い致します

農事組合名	農事組合長
上 忠 類	川 島 秀 樹
元 忠 類	高 橋 一 男
新 生	大 坂 崇 士
上 当	森 本 純 司
西 当	内 藤 康 広
豊 成	大 石 幸 男
幌 内	西久保 光 浩
日 和	石 黒 一 郎
東 宝	向 井 直 樹
生 花	河 口 健 人
晩 成	水 沼 竜 太

(敬称は略させて頂きます)

※任期 H29.1.1~29.12.31





写真1 H28年産コーンサイレージは適期に収穫ができず、乾物率が高い状態での調製を余儀なくされた。

●十勝農業改良普及センター十勝南部支所● より食べさせる技術【TMRの選り食い対策】

平成二十八年産の飼料用とうもろこしの収穫は天候不順の影響を受け、平年よりも遅くなりました。そのため、すす紋病で茎葉が激しく枯れあがった圃場も多く見受けられ、収穫適期に刈り取りできなかったこともあ

り、調製したサイレージは乾物率が高く(写真1)、「パサパサ」したサイレージに仕上がっているのではないのでしょうか。乾物率が高い原料でTMRを調整する場合は、混合した粗飼料と濃厚飼料の分離が起こり、牛が選り食い(ソーティング)しやすくなります。そのため、飼料設計どおりに牛が食べてくれない状況になりやすいので今年には特に注意しましょう。

TMRの乾物率が高く、 なった場合のチェック項目

- ①頭を左右に振りながら食べる牛が増えた(写真2)。
 - ②TMR中の濃厚飼料(特にデンプン)の量は変わっていないのにアシドーシスと思われる軟便、蹄冠が赤くなる牛が増えた。
 - ③TMRの食べる量(残飼量)が安定しない。
- 以上のような状況がある場合、TMR全体の乾物率を下げる対策が効果的です。

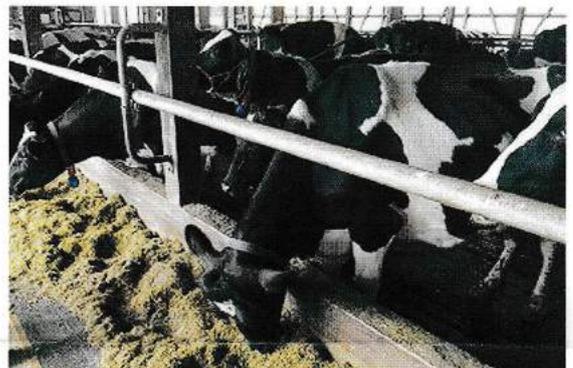


写真2 選り食いが激しくなってませんか？

対策①
水分の高いグラスサイレージを組み合わせる。

対策②
加水する。加水量の目安はTMRの乾物率が四十三%以下になる量です(図1)。ただし、加水量が多すぎるとTMRに「べたべた」感がでてしまうほか、厳寒期にはTMRが過度に凍結してしまったりすることがあります。

※加水する際の注意点
①今時期(厳寒期)は、水道管の凍結トラブルに細心の注意が必要です。また、ある程度のTMR凍結は避けられませ

ん。作業性が悪くなる不安がある方は実施を見合わせて下さい。
②気温が高くなると二次発酵(発熱・変敗)が進みやすくなります。TMRに適度な水分が供給され、発熱や変敗に関わる微生物の活動が活発になるからです。TMR調整後に発熱や異臭がするような場合(特に夏期間)は調整回数を増やす対応が必要になります。

飼 料	加水無し	加水有り
	混合量(kg/頭)	混合量(kg/頭)
1番グラスサイレージ(乾物率29%)	15	15
コーンサイレージ(乾物率35%)	15	15
濃厚飼料(配合・単味等)	13	13
加水	0	9



TMR全体の乾物率(%)	52.5	42.5
--------------	------	------

図1 選り食い防止のためTMRに加水した例

平成二十八年度 忠類百合根耕作組合 新年研修会開催される

忠類百合根耕作組合（野村進組
合長）は平成二十九年一月二十六
日から二日間の日程で、十勝川温
泉ホテル観月苑を会場に『平成二
十八年度忠類百合根耕作組合新年
研修会』を開催致しました。

研修会には、関係機関として、
ホクレン帯広支所青果課瀧澤係長・
吉田職員・竹中職員、浅田青果卸
売株輸入課今井次長、北海道森紙
業株営業部木下さんにも参加を頂
き、総勢二十七名の参加で行われ
ました。

研修会は、野村組合長の開会挨拶
で始まり、ホクレン及びJA忠
類事務局から平成二十八年産食用
百合根の出荷・販売状況が報告さ
れました。全道的に見ると、作付
面積及び販売対象面積は昨年同様
でしたが、七月以降の日照不足と
八月の台風の影響で商品化率が低
くなり、全道的には当初計画より
大幅減少の出荷数量となりました。
忠類地区においては、同じく日照
不足、台風の影響が大きく、出荷
数量前年対比六十九%となりました。
しかし品質については各市場
からは、生産者間の質の格差も少

なく依然高評価を得ております。

次に、ホクレン帯広支所より、
百合根の道内出荷実績と販売単価
を説明されました。販売単価につ
いては、北海道内・十勝管内でも
平均単価よりも一割程度高い評価
価格になつていている事を説明され、
次年度の栽培意欲向上を組合員皆
さんで確認されました。

最後に、浅田青果卸売株輸入課
今井次長より『台湾出荷に係わる
今後について』説明頂きました。
忠類産ゆり根は台湾サイドの評価
は高く、ますますの輸出増を期待
されております。



研修会風景

子どもの偏食の改善

私の食育日記

タレント・食生活アドバイザー ● 岡村麻純



子どもは好きな食べ物が偏りがち
です。野菜は一種類しか食べないと
悩むお母さんの話をよく聞きます。
そもそも多くの物を食べたことの
ない幼児期は、おいしかったという
記憶が強く残っていて、他の物が嫌
いというよりは、おいしかったから
それが食べたいという意思の方が強
くなつてしまします。なので、食わ
ず嫌いや、たまたま食べた味が苦手
だったということの方が多いうよう
に思います。私の息子も、揚げ物をずつ
と嫌がって食べませんでした。お
友達が食べているのを見て真似して
食べたら、おいしい！と言ってい
ましたし、サラダでカブを食べて以
来食べなかつたのに、みそ汁にした
らカブが大好きになりました。食の
経験の少ない幼児期、好みも変わり

ますし、食べなかつた物を急に食べ
たり、これまで食べていた物を急に
食べなくなつたりしてもおかしくな
いのです。

そこで大切なのが、周りの大人が
その子どもの好き嫌いに左右されな
いことです。食べないから出さな
い、食べるからそればかり、という
食事になつてしまうと子どもがいろ
いろな味を経験していく大切な機会
を奪ってしまうこととなります。子
どもが食べないと不安になり、つい
ついでに子どもにだけ別メニューを与え
てしまいがちですが、できるだけみ
んなが同じ食事をし、おいしいねと
会話しながら食べる、時には、大人
が自分の苦手な物を食べている姿を
見せる、そのことで子どもは、食べ
たい物を食べることでなく、その日
いただける物を食べるのが食事とい
うことを学んでいきます。

もちろん、好き嫌いは出てきます
が、それは大人も同じ。そこで無理
には食べさせず、機会に違つてみる
機会に違つて出してみると良いそ
うです。親としては食べてくれない
物を作るのはつらいことですが、こ
れが食育と思つてめげずに続けてい
きたいです。

J A 忠類酪農部会女性講座開催

「組合員勘定制度について」

J A 忠類酪農部会は二月十日に女性講座を開催しました。講師に忠類農業協同組合参事 山内信博氏をお招きし、『組合員勘定(クミカン) 制度』について講演頂きました。

講演の中では昨年、農業新聞等で話題となった政府の『規制改革会議農業ワーキンググループ』が提言した農業改革原案の内容について説明があり、部会員の関心を集めました。

その中でも、『クミカン制度廃止』は、最も関心が高く、日頃利用している『クミカン制度』の仕組みや、J A 事業との関係性、制度のあるべき姿等について学びました。クミカン制度とは、組合員の営農と生活に関するJ A との様々な取引内容について、一元的決済と取引情報の管理を行う制度となっている。

組合員は自らが作成した営農計画書を基づいて、運用し、取引内容を分析整理することで農業生産計画樹立の参考とすることができるとなる仕組となっており、クミカ

ン制度は、組合員経済の計画化に加え、J A 事業の計画化の根幹となっており、組合員とJ A を繋ぐ大切な制度となっているとの事でした。

日頃、クミカンを利用しながらも、営農計画書や取引内容等には、深く携わっていない参加者も多く、クミカン制度について理解を深める貴重な機会となりました。

参加した部会員は経営的な学習会は珍しく、非常に参考になったと意見していました。



クミカン制度について学ぶ酪農部会女性会員

作業者も安全装備を



ストップ！ 農作業事故

人間工学専門家 ● 石川文武

これまで農業機械の安全装備について解説してきましたが、今回は作業者が危険な目に遭いにくい装備について考えましょう。

機械を使わない野球でも、打者だけでなく走者や捕手もヘルメットの着用が義務付けられていますし、打者は肘当てやすね当ても活用し、けがの防止に努めています。農作業向けには、けがなどをしないように安全保護具があり、また、農業中毒などを防ぐための衛生保護具があります。作業に適した使用が大切です。

安全保護具は、頭から爪先まで各用意されています。頭の保護には、ヘルメットや帽子が必要で、高所作業や乗用農業機械作業ではヘルメットが必須です。果樹園での柵下作業にもヘルメットは有効です。顔面保護具としては、フェースガード、ゴーグルなどがあります。草刈り作業で



は、フェースガードがおすすめです。最低でもゴーグルを使用し、目の負傷を避けましょう。騒音作業では、イヤマフや耳栓を使いましょう。耳栓は汚れて耳の中を不衛生にすることもありますので、イヤマフをお勧めします。初めは圧迫感があっても慣れれば問題はありません。機械のハンドル振動からの影響を避けるためには防振手袋が有効です。一般の作業では軍手をよく使いますが、刈り取りなどで刃物を使うときには、切断などに強いケブラーの手袋が安全です。整備などでボール盤を使うときにはドリルや切り子に巻き込まれる恐れがあるので手袋の使用は禁止されています。

安全靴も有効です。最近では軽量な物も発売されています。作業の内容に合わせて選択しましょう。衛生保護具では、農業中毒を防ぐ防毒マスクが必須です。1種類あればよいのではなく、使用農薬に適した物を使いましょう。粉じん作業では防じんマスクが便利です。

さらに、作業着も肌を露出しにくい物、とつさのときに脱ぎやすいような前ボタン、前フアスナーの物を使いましょう。

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々のおトピックなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A北海道中央会

平成28年12月に、11月の

「農協改革」を巡る一連の経過について、「クミカン制度」を中心に整理した組合員向け資料「ここだけは知っておきたい『農協改革』くミカン制度は維持されました」を作成しました。本資料は農協に改革を迫る議論の背景や、存続が決まったものの一時は廃止が提言された「クミカン制度」の重要性を、対話形式で表現しております。



閲覧はこちら↑

ここだけは知っておきたい『農協改革』
くミカン制度は維持されました

平成28年12月に、11月の「農協改革」を巡る一連の経過について、「クミカン制度」を中心に整理した組合員向け資料「ここだけは知っておきたい『農協改革』くミカン制度は維持されました」を作成しました。

本資料は農協に改革を迫る議論の背景や、存続が決まったものの一時は廃止が提言された「クミカン制度」の重要性を、対話形式で表現しております。

J A北海道信連

J Aバンクを多くの人に知ってもらうため、昨年11月に札幌駅前地下歩行空間でPRイベントを行いました。

「ドドン貯きキャンペーン」の宣伝や、ちよリスによる「旗揚げゲーム」、コンサドーレの堀米選手・福森選手のトークショー、両選手サイン入りJ Aバンクグッズの当たる「じやんけん大会」を実施しました。J Aさっぽろの「ローン相談コーナー」も設置し、J Aバンクを広くPRできました。



ホクレン

LINE@等を活用した生産者

向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」は、生産者の皆様に向けたイベントや新商品情報、生産資材（飼料や農薬等）価格、乳価等の営農情報をタイムリーに発信しています。

今後は市況情報やAコープのキャンペーン情報の発信も予定。生産者の皆様に役立つ情報を発信して参ります。お手持ちのスマートフォンやPC (<http://hokuren-news.jp/>) から登録ください。



登録はこちら↑

J A共済連北海道

住宅等の建物修理で、共済（保険）請求を悪用したトラブルが全国で多発、消費者相談センター等へ相談が増えていますので十分にご注意ください。

不正修理業者が自然災害事故を装い「共済金（保険金）が出るので自己負担無しで修理ができる」という内容で高額な見積り金額の契約を交わし、解約すると高額な違約金を請求されることがあります。トラブル防止のためには、建物関係の事故が発生した場合は、まずご加入先のJ Aへお問合せ下さい。

J A北海道厚生連

旭川厚生病院で「土曜ドック」を！

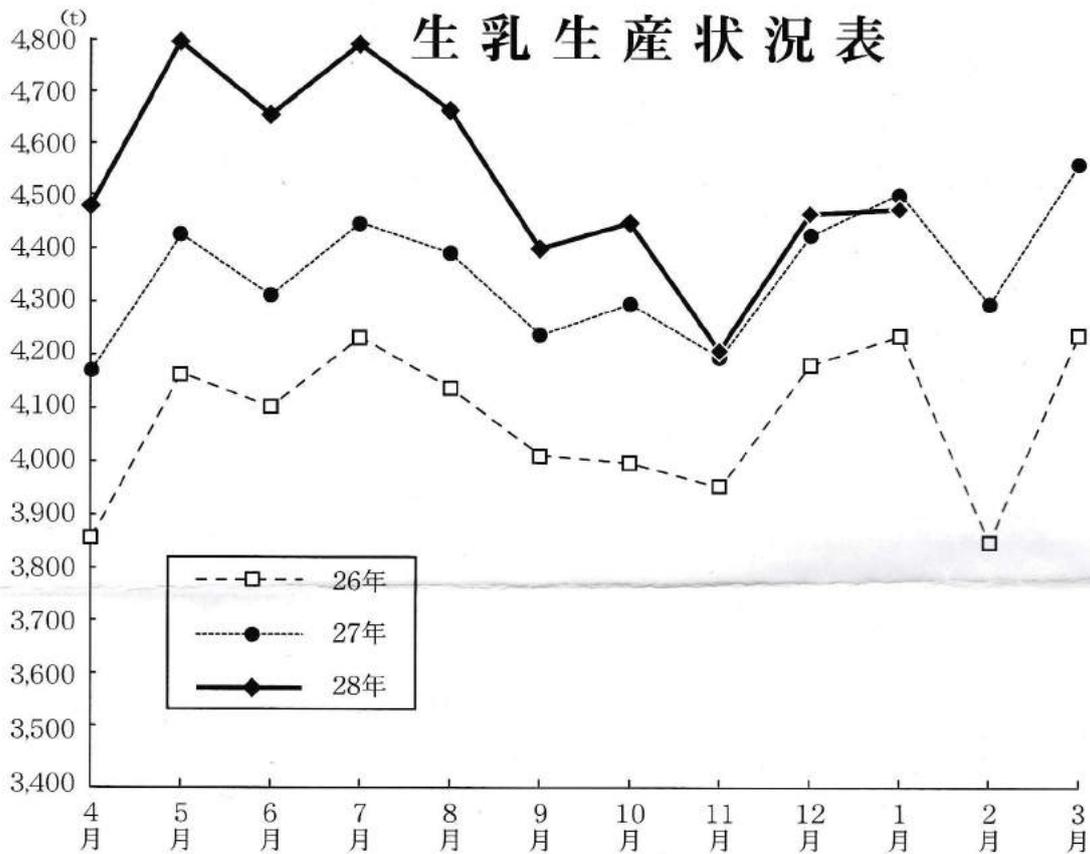
旭川厚生病院では、男性の方を対象として、隔週土曜日に人間ドックを実施しています。午前中に全ての検査が終了し、検査結果は受診日から1週間ほどお届けします。前立腺がんや肺ドックなどのオプション検査も可能です。

随時予約を受け付けておりますのでお電話でお問い合わせください。

※完全予約制

(TEL) 0166-33-7171(内) 2146・2198

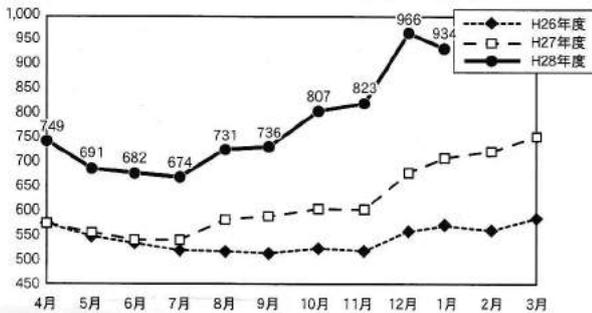




ホクレン十勝家畜市場だより

〔乳 牛〕

乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移



○売買頭数：544頭（成立78.5%）

○平均価格(税込)：936千円（先月比32↓、前年比220↑）

～相場予想～

先月の平均価格は、府県の購買意欲が先々月ほど高くなく、平均価格は弱含みで推移しました。

今月は、春分娩牛による導入需要が見込まれますが、平均価格は横ばいで推移すると考えられます。

〔黒毛和種・F1〕

～結果速報～

○売買頭数

黒毛和種去勢：890頭（成立93.3%）

乳用交雑種去勢：1,215頭（成立93.8%）

黒毛和種雌：622頭（成立94.4%）

乳用交雑種雌：1,336頭（成立94.8%）

○kg単価

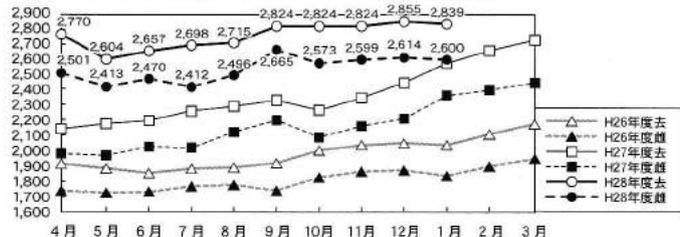
黒毛和種去勢：2,839円（先月比16↓）

乳用交雑種去勢：1,541円（先月比10↑）

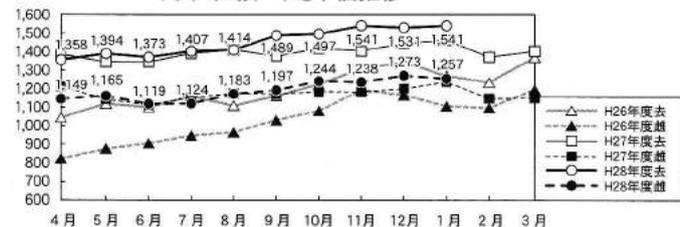
黒毛和種雌：2,600円（先月比14↓）

乳用交雑種雌：1,257円（先月比16↓）

肉牛市場(黒毛和種251-300kg)kg単価推移



肉牛市場(F1)kg単価推移

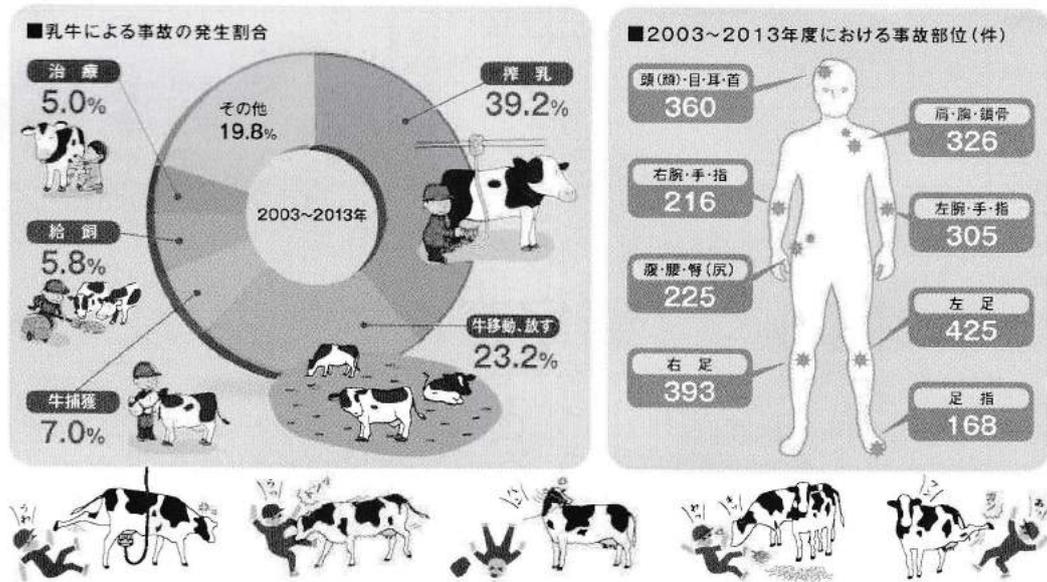


発行 忠類農業協同組合 営農部経営課 〒〇八九一七九二 中川郡幕別町忠類栄町二五九番地 電話(〇一五五八) 八一三二一

乳牛による搾乳中の事故を防ぐ!

乳牛事故の約40%が搾乳時に発生しています!

事故発生時の作業は主に●搾乳●牛移動、放す●牛捕獲●給飼●治療の5項目が上げられます。その事故で負ったケガの部位は、頭からつま先までで分けてみると、搾乳時の事故では、頭部(顔・目・耳・首)で360件、足は818件(左足425件、右足393件)、腕・手の部位では、計521件(左305件、右216件)を受傷しています。乳牛事故の約40%が搾乳時に発生しており、飼養タイプでみると、フリーストール飼養の16.4%発生に対し、つなぎ飼い飼養の83.6%発生と、つなぎ飼い飼養での割合が高いようです。



事故防止対策

つなぎ飼い飼養

搾乳時に牛の間に入る時は、必ず牛に声をかけ、触るなどして牛が作業者を認識するようにする。

搾乳時の姿勢は、とっさの対応ができるように牛の前方を向くのではなく、脚側を向いて作業をする。脚側を向くことで牛の動きに注意を払うことができる。また、頭で脚の付け根を押すことで、キックノン装着と同じような効果となり、また、脚の微妙な動きを感ずることができる。

フリーストール飼養・つなぎ飼い飼養

〈共通の事故防止対策〉

牛がいやがる動きを見せたときには、なだめるように声をかけ、落ち着かせる。

普段からブラッシングなどをして、牛との接触を密にしておく。

発情時には普段おとなしい牛も気が荒くなる場合もあるので、特に注意をしながら、対応する。

その他、動きやすい服装、安全靴の着用、ヘルメットの着用などを心掛ける。

フリーストール飼養

バーラ内に牛を誘導する際には、フライトゾーンを活用し、牛の斜め後方から牛を追う。この時、声かけと軽く触れて追うようにする。周りの牛の動きにも注意を払う。

前処理やミルクを取り付けるときには、バーラであっても声かけと脚などへの接触を心掛ける。

監修:酪農学園大学 循環農学類 教授 高橋圭二氏